

令和3年2月21日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生について（第19報）

当院における新型コロナウイルス感染に関してご報告させていただきます。

令和3年1月20日（水）、病棟での陽性者の確認に端を発し、接触者の症状観察を実施しております。

2月20日（土）、新たに入院患者さま2名の陽性が判明しました。（一度は陰性が確認されていたものの、症状の出現により再検査し陽性が判明） 院内で濃厚接触者はおりませんが、検査対象範囲を十分に精査したうえ、幅広く検査を実施しております。昨日にて対象者への検査は完了し、その他の結果は全て陰性でした。

昨日までの当院クラスター関連の感染者数は、入院患者さま51名、退院患者さま5名、看護師27名、看護助手6名、社会福祉士1名、委託清掃員2名の合計92名です。

三重県と鈴鹿保健所の指導のもと、病棟のゾーニング、院内の消毒、共有スペースの閉鎖等の処置、全入院患者さま及び全職員の徹底した症状観察を実施するとともに、適宜PCR検査を実施し、感染拡大の防止に全力で取り組んでおります。

また、一度は陰性が確認された方が後日、症状が現れ陽性となる場合等がありますので、引き続き症状観察を徹底するとともに、感染状況等に変化ございましたら、ご報告させていただきます。

今後の診療体制につきましては、安全と体制が確保できた部分から段階的に診療を再開してまいります。

[2月16日（火）～ 2月22日（月）の診療体制]

- 外来（初診）：一部再開（紹介、早期診療が必要な方に制限）
- 〃（再診）：再開
- 入院（新規）：一部再開（当院での入院診療が不可欠な方に制限）
- 〃（再入院）：再開
- 手術：一部再開（病状、重症度により段階的再開）
- 救急：受入れ停止
- 面会他：入院患者の面会、病院実習および不要不急の訪問等は原則禁止

引き続き、職員が一丸となって一日も早い事態終息と診療の完全再開に向けて、全力で取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

鈴鹿中央総合病院
院長 森 拓也